

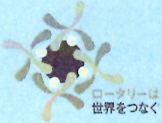


ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.2

会長 西崎徳彦 幹事 柳口 崇 編集者 市野誠也 令和元年7月16日発行



ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-2020年度
RI会長
マーク・ダニエル・マローニー
Mark Maloney

7月9日例会（第2089回）記録

司会 鮫島SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「手に手つないで」

会長の時間 西崎会長

先週は、7月2日の八代南ロータリークラブから始まり八代RC、八代東RC、八代北RCと挨拶をさせて頂きました。梅雨に入り、梅雨前線の影響により、先週1週間は生憎の雨でした。しかしながら、私自身は35年間ほぼ晴れ男ですので、車の乗り降りの時には不思議と雨が小降りになるという運を持ち合わせ、特に大きく濡れることも無く無事に4ロータリークラブ訪問が出来ました。天に感謝申し上げ、皆様に感謝申し上げます。

今回の大雨は、梅雨前線を北と南の高気圧が挟み込み南下するという線状降水帯によって大量の雨が長時間集中して同じ地域に降る事で水

7月23日の例会	7月30日の例会
会員卓話 山本会員	休会
VSOP今年度累計	6,530円

害が発生いたしました。被害にあわれた方、地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

平成24年に阿蘇方面、植木方面で大雨が発生し多大な水害がありました。その1ヵ月後に阿蘇の町立体育館でバスケットボールの試合があり、その時の話を現地の方に聞きました。「1m先も見えないくらいのバケツを返したような大雨が1時間以上も続いた」「雨の量も凄い。音も凄い」との事でした。本当に怖かったという話を直接聞かせていただいておりましたので、今回の雨も非常に不安なものでした。

太平洋赤道域の海面水温が高くなり1年程度続く現象をエルニーニョ現象と言われ、世界中

出席報告 宮田委員長				欠席会員名		マークアップ済会員名		
本日の出席	会員総数	49名	出席率	岡村・北岡・城戸・澤田・園川・ 續・富・豊岡・中道・三枝崎・ 長鋤・南郷・藤崎・藤永・湊田・ 野尻・毛利・上村	計	18名	飛石・塚本 (7/2 理事会)	
	出席会員数	28名						
	当日分 マークアップ済 会員数	2名						
	計	30名						62.50%
6/25の修正	6/25の出席会員数	29名	前回補填 会員名	清田 (7/2 理事会)	計	1名		
	補填会員数	1名						
	計	30名						60.00%
昨年	月出席会員数	名	%		計	0名		
他出席 マークアップ 会員名	出席免除：西田会員						計	0名

で異常な天候が続いております。私が仕事を通じて思う事は、雷の時期が大きく変わった事です。20年程前は、お盆前後には大きな積乱雲が発生し、当たり前のように夕立や雷が発生しておりました。最近は、夕立さえも珍しくなりました。これも、身近に感じる異常な天候と思います。

最後になりますが、今回は、鹿児島市の避難指示の件について特別な意見は述べませんが、もしも八代市で避難指示が起きたらどうされますか？私は、麦島という三角洲に住んでおりますので、避難場所は総合体育館でした。いいえ、八代トヨカ地建アリーナでした。そんな多数の人が避難できるのでしょうか。不安を感じました。天に祈るだけです。

皆様も、天災には十分に備えられますようお願い申し上げます、会長の挨拶とさせていただきます。

幹事報告 柳口幹事

1. 例会変更・取り止め

・八代北RC

7月19日(金)は「十八夜祭例会」の為、7月18日に変更

・熊本西RC

7月16日(火)は定款第8条第1節に基づき取り止め。

7月23日(火)は「ガバナー公式訪問、熊本西南・熊本西・熊本中央RC合同例会」の為

日時：7月26日(金) 12:30～

会場：ホテル熊本ニュースカイ

7月30日(火)は「職場訪問例会」の為

日時：7月30日(火) 12:30～

会場：光輪寺

・熊本東南RC

7月17日(水)は「新年度家族会」の為

日時：7月17日(水) 18:30～

会場：熊本ホテルキャッスル

7月31日(水)はクラブ指定の休会

・八代東RC 8月8日(水)は「親睦例会」の為

日時：8月8日(水) 18:30～

会場：アルデアアルカサール

2. 熊本県くらしの安全推進課より第41回「少年の主張」熊本県大会の開催についてご案内→回覧

日時：9月7日(土) 13:00～

会場：阿蘇市体育館

3. 八代市よりNPO・ボランティアに関する情報誌「やつしろNPO情報！」第56号→回覧

4. 八代市より令和元年度「くまもと・みんなの川と海づくりデー」参加について→回覧

日時：8月25日(日) 7:00～

場所：球磨川河川敷公園→出欠

5. 例会終了後、臨時理事会を開催します。理事の方は宜しくお願ひします。

スマイルBOX 坂本副委員長

宮川会員：私の故郷である西日本シティ銀行八代支店が通町の長崎銀行跡地へ移転。リニューアルオープンしました。1階左側が西日本シティ銀行、右側が長崎銀行となっています。2階は会議室、食堂等で近代的な設備を備えた立派な店舗となっています。そこで私も祝儀定期預金100万円を預入れてきました。すがすがしい気持ちになりましたのでスマイルします。

下田会員：誕生祝ありがとうございます。

米山奨学金委員会 松嶋副委員長

米山財団へのご寄付有難うございました。下記の方々より頂戴致しました。

氏名	寄付金	氏名	寄付金
久原会員	3,000円	上原会員	3,000円
中川会員	5,000円	松岡会員	3,000円
松嶋会員	3,000円	宮川会員	3,000円

ロータリー財団委員会 松嶋副委員長

年次寄付

氏名	寄付金
松岡会員	2,000円
松嶋会員	2,000円

VSOPに寄付

氏名	今回の寄付金額
前田会員 (マンマチャオ)	1,500円
谷川会員 (谷川公認会計士事務所)	3,000円

本年度事業計画 活動方針

クラブ管理運営委員会 瀧上委員長

公共イメージ委員会 鮫島委員長

ロータリーに関する情報を、会員、一般の人々に伝え、クラブの奉仕活動を広報するための活動を行う。広報、ロータリー情報、クラブ会報、雑誌の各委員会との連携により、八代南V・S・

〇・Pについて等、クラブの活動を対外的に発信していくように努める。

〇広報委員会 鮫島委員長・里副委員長
宮川会員・谷川会員

1. 活動方針

ロータリー活動を広く各方面に事前に発信することにより、八代南ロータリークラブの活動を多くの市民に知ってもらう「V・S・O・P」のプロジェクト事業のPRを中心に行い、ホームページを再構築し、八代南ロータリークラブの活動をより多く、より詳しく情報を発信できるようにする。

2. 事業計画

- ① ホームページの作成
- ② 「V・S・O・P」に取り組んでいる事業所の紹介
- ③ 懐良親王陵清掃奉仕活動PR
- ④ 国際交流（米山奨学生）のPR
- ⑤ その他の活動紹介

会員増強委員会 前田委員長

会員増強委員会は、クラブ運営にとってとても重要な委員会です。クラブの現状の職業分類から現在の時代に合った職業分類の見直しを行い。会員候補者の発掘に力を入れると共に、会員選考委員会と協議をしながら会員増強を進めていきます。

〇会員増強委員会 前田委員長・豊岡副委員長
宮田会員

1. 活動方針

会員増強と退会防止は、クラブにとって重要な課題です。会員増強については、現在のクラブの事業内容を見ると充実した会員数にあると

思われます。無理をした会員増強ではなく、クラブとして必要な人材の発掘を行っていかねばなりません。本年度は、特に退会防止に力を入れていきます。せっかくクラブメンバーになった会員が、ロータリーの素晴らしさを理解できずに退会していかないような体制作りをしていきます。

2. 事業計画

- ① 会員拡大に「入会に向けて」のチェックシートの活用を促す。
- ② 入会後の「新会員オリエンテーション」を実施する。
- ③ 職業分類委員会、会員選考委員会と連携し、職業分類の見直しと会員候補者の発掘を行う。
- ④ IDMや例会を利用して会員候補者の情報交換を行う。

臨時理事会 議事録

日時：7月9日(火) 13:30～

出席者：西崎・鶴田・柳口・緒方・前田・

山口・市野・淵上・鮫島・沼田の各会員

- ・クラブ予算の採択→承認（定例理事会で済み）
- ・クラブ事業計画→次回へ
- ・半期報告→承認（49人 34\$）
- ・例会変更→承認（第5例会を休会する）
- ・クラブ協議会、各委員会の開催→承認
- ・その他（出席補填は1年間について）
→メイキャップの時期について、要検討していく



淵上クラブ管理運営委員長



鮫島公共イメージ委員長



前田会員増強委員長

2019-2020年度ガバナー所信

国際ロータリー第2720地区

2019～2020ガバナー 瀧 満

【地区スローガン】

『さあ、ロータリーの大海へ漕ぎ出そう』

“私たちのクラブから将来の地区ガバナーを…”

高校野球100年、昨年の夏の甲子園は劇的なドラマを数多く生んで終了しました。“9回裏ツーアウト、点差は3点”、誰もが負けを意識した試合で奇跡が起きることを多くの方が目の当たりにしました。どうして逆転につながったのでしょうか、それは、最後の打者にはなりたくない、という球児たちの必死の思いが「つながった」からです。

国際ロータリーの価値観の変化や日本を含めた先進国の会員減少などで、日本のロータリーを取り巻く環境は大きく変わっており、会員の高齢化など、待ったなしの変革を迫られている現在の状況は、野球で言えば、この“9回裏ツーアウト3点差”に匹敵するピンチであります。今は地区内のロータリアンが知恵を発揮し、ロータリーの変化する価値観に対して、生き延びる方策を考え、ピンチをチャンスに「つないで」ゆくことが急務であります。

「つなぐ」とは、若い（40代、女性）会員を増やし、次世代のリーダーとして育ててゆくことであり、既存の会員がそれをサポートする体制をクラブ内に造り出すことであります。その上で、考え方の違うそれぞれの会員のロータリー感を尊重した多様性に富むクラブ運営を目指すことなのです。それがクラブ、並びに2720地区の継続と発展に「つながる」と考えます。

その為には、会員がクラブという港に船を停泊させているだけではなく、ロータリーの広い大海へ漕ぎ出す勇気が大切ではないではないでしょうか。漕ぎ出せば、そこには新しい風景があります。新たな価値観に出会うチャンスがあるのです。私は、サンディエゴの国際協議会で、“世界で良い事をしよう”とする世界中のガバナーエレクトと交流し、マローニー会長の姿に直に接し、ロータリーは世界と「つながって」いる事と、この組織に所属する幸せとステータスを実感しました。若い会員がロータリーの大海へ漕ぎだせば、そこには今までとは違った世界があるはずです。そして、そこで育った若きリーダーたちが、やがては、クラブ会長となり、ひいては地区ガバナーを目指す土壌が出来た時、2720地区は素晴らしい地区へと発展してゆくと確信いたします。